

交通運輸分野における新型インフラ建設の推進に関する指導意見

アジア調査部中国室研究員

劉家敏

03-3591-1384

jiamin.liu@mizuho-ri.co.jp

【要点】

- 中国交通運輸部は、2020年8月6日に「交通運輸分野における新型インフラ建設の推進に関する指導意見」（中国語名「关于推动交通运输领域新型基础设施建设的指导意见」、以下「指導意見」）を発表した。
- 中国の鉄道営業総距離は、2020年7月末現在、14.14万km（うち高速鉄道は3.6万km）に達している。中国国家鉄路集团有限公司（CR）は、2020年8月発表の「新時代交通強国鉄道先行計画要綱（2021～2035年）」の中で、2035年までに鉄道営業総距離を20万km（うち高速鉄道は7万km）にするとの目標が設定された。この目標を目指しながら、交通インフラのデジタル化・スマート化・高度化（新型インフラ）を推進していくために発表されたのが、この「指導意見」である。
- 「指導意見」では、3大分野における14の主要任務が盛り込まれた。具体的には、(1)スマート交通インフラの整備（①スマート道路〔全要素・全サイクルのデジタル化推進等〕、②スマート鉄道〔列車の運行間隔調整・管理のスマート化等〕、③スマート航路〔電子航路図の整備等〕、④スマート港湾〔コンテナターミナルの自動化等〕、⑤スマート民用航空〔スマート空港の整備等〕、⑥スマート郵政〔郵便物自動選別施設の普及、作業の機械化推進等〕、⑦スマートハブ〔道路の旅客運送における電子チケットの普及、各種旅客サービスに対する「1コード通行」の推進等〕、⑧新エネルギー・新素材産業の応用〔高出力に対応した急速充電の電気自動車充電スタンドの建設等〕）、(2)情報インフラの整備促進（⑨5G等の協調的な応用〔5Gの商用化を契機としたモノのインターネット（IoT）・車のインターネットの利用促進等〕、⑩北斗衛星測位システムとリモートセンシング衛星に関わる産業の応用〔高精度測位・ナビゲーションの能力向上等〕、⑪ネットワークセキュリティの強化〔セキュリティ体系の構築等〕、⑫データセンター〔産業ビッグデータの形成促進等〕、⑬人工知能（AI）〔自動運転・スマート水上運輸・スマート工事現場に関する研究開発の推進等〕）、(3)産業革新を促すインフラの整備（⑭研究開発〔交通運輸分野における研究開発体系の構築等〕）、である。

【構成(概要)】

「交通運輸分野における新型インフラ建設の推進に関する指導意見」

(交規劃発[2020]75号)

成立日：2020年8月3日、発表日：2020年8月6日

1. 指導思想・基本原則・発展目標：技術革新をけん引力とし、デジタル化・ネットワーク化・スマート化を中心に、効率性の向上・機能の拡大・成長力の強化を方向とした交通インフラのデジタル化・スマート化・高度化を推進するとの指導思想の下、サービス改善・効率性向上、全体計画と集約・共有、政府指導・市場主導、産業融合と協調・連携等を基本原則とし、2035年までに交通運輸分野における新型インフラの整備において顕著な成果を収めることを発展目標とする。
2. 主要任務：(1)スマート交通インフラの整備（①スマート道路〔設計・建設・維持修繕・運行管理を含む全要素・全サイクルのデジタル化推進等〕、②スマート鉄道〔列車の運行間隔調整・管理のスマート化等〕、③スマート航路〔電子航路図の整備等〕、④スマート港湾〔コンテナターミナルの自動化、建設・維持修繕・運行管理を含む全要素・全サイクルのデジタル化推進等〕、⑤スマート民用航空〔空港の情報インフラの整備加速、関係施設の全面接続によるスマート空港の整備等〕、⑥スマート郵政〔郵便物自動選別施設の普及、作業の機械化推進等〕、⑦スマートハブ〔道路の旅客運送における電子チケットの普及、切符の受取と確認・セキュリティの検査・上下車・乗り換え等を含む旅客サービスに対する「1コード通行」の推進等〕、⑧新エネルギー・新素材産業の応用〔高速道路のサービスエリアにおける高出力に対応した急速充電の電気自動車充電スタンドの建設等〕）、(2)情報インフラの整備促進（⑨5G等の協調的な応用〔5Gの商用化を契機としたモノのインターネット（IoT）・車のインターネットの利用促進等〕、⑩北斗衛星測位システムとリモートセンシング衛星に関わる産業の応用〔高精度測位・ナビゲーションの能力向上等〕、⑪ネットワークセキュリティの強化〔新型インフラにおけるセキュリティ体系の構築等〕、⑫データセンター〔運輸関連データの全面収集による産業ビッグデータの形成促進等〕、⑬人工知能（AI）〔自動運転・スマート水上運輸・スマート工事現場に関する研究開発の推進等〕）、(3)産業革新を促すインフラの整備（⑭研究開発〔国家重点実験室・国家技術革新センター等をけん引力とした交通運輸分野における研究開発体系の構築等〕）。
3. 組織的な実施：①リーダーシップの強化、②重点地域での試行によるけん引力の強化、③標準体系・調整メカニズムの整備、④多元的な投融資メカニズムの形成、⑤協調・協力の強化。

* 中国語全文は、http://xxgk.mot.gov.cn/2020/jigou/zhghs/202008/t20200806_3448021.html

から入手可能（2020年9月17日アクセス）

以上

●当レポートは情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成されておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しては、ご自身の判断にてなされますようお願い申し上げます。また、本資料に記載された内容は予告なしに変更されることもあります。なお、当社は本情報を無償でのみ提供しております。当社からの無償の情報提供をお望みにならない場合には、配信停止を希望する旨をお知らせ願います。